

06「諏訪湖の水辺アクティビティ推進」ワーキンググループについて

諏訪地域振興局企画振興課

1 概要等

諏訪湖創生ビジョンでは目指す姿の一つとして『泳ぎたくなる諏訪湖』をテーマに掲げ 2038 年頃の目標達成に向け取り組んでいる。諏訪湖サイクリングロードやジョギングロードなどの環境整備が進み、諏訪湖を身近に感じることができるようになった。諏訪湖の水と触れ合い、諏訪湖に親しむ手段としてボートやカヤックなどのアクティビティ施設が民間事業者により展開されている一方、諏訪湖で水遊びをすることについては一般的ではない。諏訪湖の水質が水浴可能などところまで改善してきていることを踏まえ、諏訪湖の賑わい創出に資する取組を親水利用の観点から検討する。

2 検討状況等 (Y: やったこと)

R6. 8. 23 知事遊泳

9. 10 諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局会議にて「泳ぎたくなる諏訪湖に向けて」検討開始

9. 29 諏訪湖の日フォーラムにて参加者 300 名を対象にアンケート実施(遊泳に関する設問)
→回答者の約 7 割が「諏訪湖で泳ぎたくない」と回答

11. 14 UDC信州主催 諏訪湖周辺エリア戦略検討会(メンバー: 湖周市町の都市計画担当職員)にて「泳ぎたくなる諏訪湖に向けた」取組を連携実施できないか提案

11. 29 諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局会議にて勉強会の立ち上げ提案→了承

R7. 1. 16 知事へ取組方針(地域住民の親水意識の醸成に資する取組からスタート)を提案→了承

2. 6 勉強会開催。取組方針の確認(湖周市町、観光団体、民間事業者、県関係機関)

(参考)

右図は R6. 8. 23 阿部知事が諏訪湖でアクティビティ体験時の様子(サイクリング→遊泳→ボート試乗)

場所: 下諏訪町赤砂崎 砥川河口付近

知事コメント

体感ではにおいなどの違和感はなかったが、湖底の泥が浮き上がり濁るなど課題がある。安全面の配慮や遊泳場所の環境整備も必要。地域の皆様と協力しながら「泳ぎたくなる諏訪湖」を目指す。



3 現時点の課題 (W: わかったこと)

知事遊泳当時は湖水浴場の整備に向けて環境整備など、どのように進めていけばよいかと考えたがこれまで実施したアンケート結果、推進会議事務局会議や勉強会での議論を踏まえ、まずは地域住民の親水意識の醸成を第一段階の目標に定めて取り組むことになった。

4 令和 7 年度の予定 (T: 今後やること、連携機関がある場合は役割を明確に記載)

	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月
諏訪湖創生ビジョン推進会議	計画報告(5.28)			
ワーキンググループ	WG 立上げ(5.28)	WG 開催(7月) ・親水イベントの内容検討	WG 開催(11月) ・R7 取組内容・成果の共有 ・次年度の取組検討	
企画振興課	親水イベント発注(6月)	親水イベント開催(7～10月)	→	
湖周市町、事業者等		親水イベント開催		